

のしろ市議会だより

わたし まち

2020年(令和2年)11月10日 第58号



「私たちが作っています！」南部共同調理場での学校給食の調理風景と職員の方々

◆特集◆

子供たちの元気をつくる学校給食

～学校給食の充実と学校における食育の推進～

特集	P 2
9月定例会の概要	P 3
審議結果一覧	P 4
一般質問	P 5～P 7
各委員会での主な審査概要	P 8～P 10
議会における新型コロナウイルス感染症対策について、 市民意識調査結果	P 11
議会の主な動き ほか	P 12



令和2年9月定例会
録画中継ページ

◆特集◆ 子供たちの元気をつくる学校給食 ～学校給食の充実と学校における食育の推進～

能代市内の学校給食施設

能代市には、南部共同調理場（第四小学校敷地内）、北部共同調理場（東雲中学校敷地内）、二ツ井共同調理場（二ツ井小学校敷地内）の3つの共同調理施設があり、小学校7校、中学校6校の給食調理業務を行っています。

学校給食の施設や運営にかかるお金は市が負担することになっており、保護者が負担するいわゆる「給食費」（小学校270円/食、中学校315円/食）は、食材費として使われま

す。南部共同調理場での昨年度の給食実施日数は、小学校182日、中学校174日でした。なお、学校ごとの1日当たりの給食数は左の表のとおりです。

◆1日当たりの給食数

南部共同調理場（計1,781）

浄城西小（305）、浄城南小（277）、第四小（470）、浅内小（68）、能代一中（201）、能代二中（294）、能代南中（166）

北部共同調理場（計581）

向能代小（345）、東雲中（236）

二ツ井共同調理場（計632）

第五小（174）、二ツ井小（230）、能代東中（97）、二ツ井中（131）

※数字は7月末の児童生徒の給食数で、その他に職員等の給食を調理しています

南部共同調理場で栄養教諭の相沢耕子さんと桶川美穂さんにお話を伺いました。

「給食作りで大切なこと」

給食作りで一番大切にしているのは、衛生管理です。安心して食べてもらえる安全な給食を作るように調理員みなで頑張っています。

毎朝、業者さんから納品される食材について検品の作業があり、温度を測り、量を確認し、目視で不具合をチェックしています。肉製品などは、温度が高ければ基本的に受け取ることができないので、温度管理を徹底して、調理場に入れるよう心掛けています。

野菜は丁寧に洗浄しています。サラダやあえ物を調理する際は、生の野菜をゆでてから真空冷却機で冷ましています。



各学校のクラスごとに、確実に給食が届くよう、3台あるトラックにコンテナを積み込んでいますが、とても重くて配送の方々には難儀をかけています。

「子供たちへの思い」

マスクやエプロンの着用や手洗いなど、普段から子供たちも衛生に対する意識を持って食べていただいております。子供たちから、感謝の手紙をもらったり、食育の授業等で直接お礼を言われたりすることを励みに、今

後も安全で安心な給食を提供できるよう毎日の調理を頑張ります。

取材当日（9月23日）の給食

五目御飯、牛乳、だし巻き玉子、白菜のうま煮、ナメコのみそ汁
【地元の食材】チンゲンサイ、ネギ（能代市産）豚肉、大根、豆腐（秋田県産）



取材を終えて

全国的に近年、偏った栄養摂取、朝食欠食など食生活の乱れや肥満・痩身傾向など、子供たちの健康を取り巻く問題が深刻化しております。また、給食を通じて地域等を理解することや、食文化の継承を図ること、自然の恵みや勤労の大切さなどを理解することも重要となっております。食材が高騰する中、限られた予算（食材費）の中で地元の食材を工夫して調理していただいていることを改めて感じました。今後子供たちの元気をつくる学校給食に対し、地域の皆様の深い御理解と御支援を頂けるようお願い申し上げます。

取材…落合範良 渡邊正人

9月定例会の概要

令和2年度一般会計補正予算は

全会一致で可決

9月定例会は、9月1日から29日まで29日間の会期で行われました。

提出された議案は、令和2年度一般会計補正予算、令和元年度一般会計決算及び特別会計決算など全20件と、議員発議の意見書案3件で、審議の結果、全ての議案を承認・可決・認定・同意しました。

請願・陳情は6月定例会で継続審査とした請願を含む2件を採択、1件を不採択、1件を継続審査としました。

主な単行議案

◆字の名称を変更します

令和3年3月31日で地域自治区の設置期間が終了することから、二ツ井町の名称を引き続き使用できるようにするため、字の名称に二ツ井町を加えます。

令和元年度決算

- ・能代市一般会計決算及び特別会計決算
- ・能代市水道事業会計決算
- ・能代市下水道事業会計決算

令和2年度一般会計補正予算

補正予算(第8号)は13億3304万7000円が追加され、予算総額は356億1200万円となりました。

補正予算の主な内容・事業

- ◆財政調整基金積立金 3億3299万3000円
市の貯金に相当する財政調整基金に、前年度からの繰越金の2分の1を積み立てます。補正後の基金残高は37億6254万4000円です。
- ◆特別定額給付金給付事業費(単独分) 2741万9000円

令和2年4月28日から令和3年3月31日までに誕生した新生児の保護者へ給付金を給付します。

- ◆保育所等保健衛生用品整備等事業費(私立保育所等) 700万円

- ◆保育所等保健衛生用品整備等事業費(公立保育所) 200万円

- ◆新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業費(児童福祉施設) 1050万円

- ◆新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業費(子育て世代包括支援センター) 1000万円

- ◆それぞれ、施設で使用する消毒液や、職員が使用するマスクなど、新型コロナウイルス感染症対策用品を購入します。

- ◆長期影響継続事業者支援金支給費 4億8084万3000円

新型コロナウイルス感染症拡大で長期にわたり大きな影響を受けている事業者を支援します。

- ◆公共交通事業者車両維持支援事業費(新型コロナ対策) 2730万円

- ◆生活バス路線維持事業費(新型コロナ対策) 1913万3000円

新型コロナウイルス感染症拡大で大きな影響を受けている公共交通事業者・生活バス路線運行事業者を支援します。

- ◆学校保健特別対策事業費(小学校) 850万円

- ◆学校保健特別対策事業費(中学校) 600万円

各小・中学校で新型コロナウイルス感染症対策用品として、登校時の児童や来校者の体温を測定するサーモグラフィカメラや空気清浄機

- ◆中学校冷房等整備事業費 2億1816万6000円

等を購入します。
能代第一・能代第二・能代東・能代南・二ツ井中学校のエアコン設置工事と、東雲中学校の空調設備工事を行います。

令和2年度特別会計補正予算

- ・能代市農業集落排水事業特別会計補正予算
- ・能代市浄化槽整備事業特別会計補正予算
- ・能代市浅内財産区特別会計補正予算
- ・能代市常盤財産区特別会計補正予算
- ・能代市鶴形財産区特別会計補正予算
- ・能代市檜山財産区特別会計補正予算
- ・能代市国民健康保険特別会計補正予算
- ・能代市後期高齢者医療特別会計補正予算
- ・能代市介護保険特別会計補正予算

専決処分の承認

- ◆能代市仮設診療所設置条例の制定
- ◆能代市職員の給与に関する条例及び能代市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

- ◆令和2年度能代市一般会計補正予算(第7号) 1014万2000円

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い仮設診療所を設置するため、条例の整備や必要な経費を専決処分しました。

人事案件

次の人事案件に同意しました。

○人権擁護委員

松淵 美佐緒 佐藤 清美

伊藤 七重 (敬称略)

審議結果一覧

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 ー：退席
※議長は可否が同数の場合以外は採決に加わりません。

【9月定例会】

議案番号等	議案名等	採決結果	改革ネットワーク (青の会、市民の声、シリウス、 大河の会、日本共産党)						平政・公明党					希望						
			安井英章	小林秀彦	菊地時子	大高翔	梶真一郎	落合康友	安岡明雄	藤田克美	庄司紘八	渡邊正人	原田悦子	針金勝彦	落合範良	渡辺優子	菅原隆文	佐藤智一	伊藤洋文	武田正廣
承4	専決処分した能代市仮設診療所設置条例の制定の承認を 求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○
承5	専決処分した能代市職員の給与に関する条例及び能代市 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一 部を改正する条例の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○
承6	専決処分した令和2年度能代市一般会計補正予算の承認 を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○
67	字の名称の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○
68	能代市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運 営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○
69	能代市山本郡養護老人ホーム組合からの脱退及び能代市 山本郡養護老人ホーム組合規約の一部変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○
70	令和元年度能代市一般会計決算及び特別会計決算の認定 について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○
71	令和元年度能代市水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○
72	令和元年度能代市下水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○
73	令和2年度能代市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○
74	令和2年度能代市農業集落排水事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○
75	令和2年度能代市浄化槽整備事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○
76	令和2年度能代市浅内財産区特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○
77	令和2年度能代市常盤財産区特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○
78	令和2年度能代市鶴形財産区特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○
79	令和2年度能代市檜山財産区特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○
80	令和2年度能代市国民健康保険特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○
81	令和2年度能代市後期高齢者医療特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○
82	令和2年度能代市介護保険特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○
83	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○
請36	秋田県主要農作物種子条例の制定を求める意見書提出に ついて	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○
陳37	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設 を求める意見書提出について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○
請38	加齢性難聴による「聞こえ」のバリアをなくすため補聴 器への公的助成を求めることについて ※注	継続 審査	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○
請39	新型コロナウイルス感染症拡大を防止するために早急に PCR検査体制の確立を求めることについて																			
	項目1 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、い つでも誰でも能代市内でPCR検査が受けられるように してください。	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	議長	●	●	●	●
	項目2 エッセンシャルワーカー（医療従事者／介護・ 福祉関係者／保育士／教職員など）は今すぐPCR検査 が受けられるようにしてください。	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	議長	●	●	●	●
項目3 能代市「第2期のしろ健康21計画」の理念 （基本的な考え方）に基づき、上記2項を実施する際の PCR検査の代金を全額助成してください。	不採択	○	○	○	●	○	○	●	○	●	●	●	●	●	議長	●	●	●	●	
議4	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激 な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書提出につ いて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○
議5	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設 を求める意見書提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○
議6	秋田県主要農作物種子条例の制定を求める意見書提出に ついて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○

※注 請38は、継続審査とすることに対する賛否の態度です。

富 貞一郎 改革ネットワーク(青の会、市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党)

インフルエンザ流行時期の医療体制

【問】コロナによる発熱とインフルエンザによる病状は判別が難しい。医療体制も大変な混乱が予想される。インフルエンザワクチン補助の推進はもとより、医療体制を強化するための対策はどう考えるか。

【答】インフルエンザの予防接種については、優先的に接種が必要な高齢者へ助成を行っており、周知を図っていく。医療体制については、国で同時流行に備え対応を検討している。今後、国、県の動向を踏まえ、必要に応じて能代市山本郡医師会と協議しながら、市の仮設診療所についても、流行期に備えた検査体制の在り方を検討していきたい。

洋上風力発電の県の試算の経済効果

【問】県試算の経済効果には、調査、設計、海底ケーブル敷設なども含まれているが、現実に地元企業が行えるものではない。大変いいかげんな試算についての見解は。

【答】県が平成28年に策定した第2期秋田県新エネルギー産業戦略の中で、洋上風力発電の導入に伴う経済効果を試算しており、県内企業への発注が可能な業務の割合については、企業等へのヒアリングを実施した上で推計したとしているため、参考となる指標と捉えている。

その他の質問事項

- 新型コロナウイルスの影響に対する地域経済対策
○能代火力発電所1、2号機の存続
○洋上風力発電のメンテナンス

落合 範良 平政・公明党

圃場整備の推進に向けた支援

【問】国事業の農家負担ゼロの響きに引かれ説明会に臨み、事業申請へと進もうとするが受益図作成や完成まで10年に及ぶ間の賦課金等の課題が多く、ちゅちゅよすると聞く。要件緩和等を県に要望できないか。

【答】事業採択に当たっては、地域全体の土地改良区への編入が必要であり、市では、こうした地域の農家負担の軽減と併せ、管理責任が増大する土地改良区への支援について、今後も要件等の緩和とともに各種支援策の創設・拡充について要望していきたい。賦課金を対象とした支援は、既存加入者との公平性確保の観点から難しいと考えている。

マイナンバー制度の現状と今後の取組は

【問】国では取得特典のマイナポイント事業を進めるなど制度の普及に積極的に取り組んでいる。本市でも広報やホームページで普及に努めているが、カードの交付状況と制度普及のための今後の取組は。

【答】本年8月末現在の累計の交付枚数は、7584枚となっている。制度普及のため、顔写真の無料撮影等の申請サポートのほか、従来の交付時に本人確認や暗証番号の設定を行う方式に加え、申請受付時に本人確認等を行うことで、自宅でカードの受け取りができる方式を開始し、カードを取得しやすい環境づくりに取り組んでおり、今後も継続していく。

その他の質問事項

- マンホール蓋の飛散防止

佐藤 智一 希望

SNS等ネットの誹謗中傷対策

【問】被害者がネット上の加害者に慰謝料請求などの法的手段を取る場合、費用や時間を要するなど、精神的にも負担が大きい。市独自で対応できる範囲で早急に実効性のある被害者支援の相談窓口を設ける考えは。

【答】インターネット上の誹謗中傷を含む人権相談に關しては、従来から法務局で窓口を開設しており、法務局では相談を受けた場合、内容と依頼者の意思を確認して、関係機関への案内や当該書き込みの違法性を判断した上でプロバイダ等へ削除要請を行うなど、受入態勢が整っているため、市としては、被害者の相談窓口の設置は考えていない。

小規模校に特認校制度を導入する考えは

【問】通学区域に関係なく市内のどこからでも就学を認める特認校制度を小規模校に導入し、複雑・多様化する教育課題へ対応することへの考えは。

【答】特認校制度は、主に小規模校を対象に行われており、本市では、浅内小学校が該当する。少人数ならではのきめ細かな学習指導や生活指導を行ったり、一人一人の活躍場面を数多く設定したりすることができるという、小規模校ならではのよさを生かすためにも、今後、特認校制度の導入について検討していく。

その他の質問事項

- 人権を意識したネットリテラシー教育を
○暗所視支援眼鏡を給付種目とする考えは
○災害廃棄物処理時の混乱回避への対策は

菊地 時子

改革ネットワーク（青の会、市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党）

地域公共交通政策

【問】住民の足の確保には画一的な答えはなく、地域のニーズに沿った政策や実践が求められる。コロナ禍の中で交通事業者の撤退もいわれ、交通空白地域の拡大も進むのでは。交通権を保障する政策を。

【答】市では、公共交通空白地域の解消のためデマンド型乗合タクシーの運行ルートを延伸したほか、10月からは南部地区で試験運行を開始することとしている。今後も地域住民が公共交通を創り、守り、育てるという意識を醸成するとともに、関係機関や自治会等の意見・要望を伺いながら、持続可能な交通ネットワークの構築・維持の取組を進めていく。

入院中のおむつ代助成

【問】入院中の紙おむつ代の負担が重いとの声がある。65歳以上に限らず、おむつが常に必要と医師が判断すれば準備しなくてはならない。入院中の方の経済的負担が軽くなるようおむつ代へ助成する考えは。

【答】現在、在宅で介護する家族を支援する目的で、家族介護用品支給事業によりおむつ等購入費を助成しているが、本事業は介護保険の地域支援事業交付金を活用したものである。国から交付金の活用について廃止・縮小に向けた具体的方策の検討が求められるなど、今後の状況が不透明であるため、現時点においては、対象を拡大することは難しいものと考えている。

その他の質問事項

○住民福祉のための地方行政デジタル化

渡辺 優子

平政・公明党

行政のデジタル化

【問】人口減少と少子高齢化が進む中、持続可能な行政サービスを構築していくために、行政のデジタル化は不可欠。庁内にデジタル化推進のプロジェクトを立ち上げる考えはないか。

【答】これまで住民情報システム、文書管理システム等、様々な業務についてデジタル化を実施しており、今年度は、庁舎間テレビ会議システムの導入、道路台帳のデジタル化、コミュニケーションツールを活用したオンライン会議等を実施している。今後も、地域情報課が中心となり推進していきたいと考えており、現段階ではプロジェクトを立ち上げる予定はない。

重層的支援体制整備事業

【問】縦割り行政を打破し、困り事を抱えている本人と家族を中心とした支援へと福祉の大転換を図ることが期待される「断らない相談支援」事業。誰も置き去りにしない社会のために実施すべきでは。

【答】本市においても、対応困難な相談事項が増えてきていることから、実施方法や体制等についての検討、庁内外組織との確認事項等もあるため、調整に努めながら、実施に向け前向きに検討していく。

その他の質問事項

○新型コロナ感染防止対策に係る積算上の対応

小林 秀彦

改革ネットワーク（青の会、市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党）

国民健康保険税の子供の均等割額減免を

【問】国保税の均等割は、加入者一人一人にかかるため、家族に子供が増えると世帯の負担が重くなる仕組みとなっている。子育て支援の立場から、市独自の子供の均等割の減免制度を検討すべきでは。

【答】18歳未満の加入者がいる世帯は、半数以上が所得を基準とした7割、5割、2割の軽減対象となっていることや、負担の公平性の観点から、現時点では、市独自の減免を行うことは考えていない。なお、全国市長会及び秋田県市長会において、子供に係る均等割保険税を軽減する支援制度の創設を国に継続要望している。

（仮称）能代山本広域風力発電事業

【問】10か所の風車の建設予定地は、農業振興地域であり、農家が周辺農地で農業を営んでいる。そこでは、騒音、低周波音、風車の影、圧迫感など健康被害をまともに受ける。市としてどう考えているのか。

【答】環境影響評価準備書において、それらの項目における調査、予測及び評価結果が示されているが、発電施設近傍の農作業者を対象にしたものではない。事業実施区域周辺における環境への影響を回避または十分な低減が図られること、また、影響がある場合は必要な対策を講じるよう、県を通して事業者に意見を述べていきたいと考えている。

その他の質問事項

○新型コロナウイルスの影響による国保税等の減免
○種苗法改正案に対する市の見解は
○米需給安定への対策

安井 英章

改革ネットワーク(青の会、市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党)

陸上風力発電は規制すべきでは

【問】 小型風力発電はガイドラインがあり規制できているが、中型以上については規制がない。中型の風車は回転も速く騒音の問題や景観上の問題も発生する。条例やガイドラインで規制すべきでは。

【答】 風力発電事業計画の認定は関係法令等で規定されているほか、適切な事業実施のため、国のガイドラインも示されている。また、市独自のガイドラインに基づき、周辺環境への配慮等、各事業者等に指導している。今後、本市における陸上風力発電の運用状況等を注視しながら、条例やガイドラインの見直し等による規制の必要性について検討していきたい。

市独自のPCR検査費用の補助を

【問】 人が動かなければ経済も動かない。ワクチンが開発されるまでは、まだ時間がかかる。民間の企業や自治体では独自の検査や補助を始めている。能代市でもPCR検査費用に補助はできないか。

【答】 新型コロナウイルス感染症の検査は、基本的に秋田県知事及び秋田市長が行うことになっている。現在、能代山本地区で検体採取できる医療機関は2か所のみである。また、検査を依頼する機関の処理可能件数は1日最大90件であり、市独自の検査費用の補助には至らない現状にある。今後、状況に応じ、市としてできることを検討していきたい。

その他の質問事項

- 文書等に元号と西暦を併記すべきでは
- 災害時避難所の小・中学校へエアコン設置を
- 水素による大規模発電を市のムーブメントに

落合 康友

改革ネットワーク(青の会、市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党)

教職員の多忙化防止

【問】 教員多忙化の最大の要因は繁忙な学校業務。特に学習指導要領改訂によってさらに増えているため、これまでの慣例的業務を改善するしかない。学校業務の抜本的な見直しと大幅な削減は進んでいるか。

【答】 昨年3月に文部科学省より、学校が担う業務について具体的な仕分の観点が示され、市教育委員会では、これを基に具体的な取組を進めているが、実現には時間がかかるものもあり、大幅な削減が進んでいると言える状況ではない。今年度から導入しているコミュニティ・スクール制度が充実していけば、多忙化防止に大きく寄与していくと考えている。

旧宗徳小学校等の空き校舎活用

【問】 当協議は地域住民の意見だけを集約し小さい枠組みの中で進められている。空き校舎が最大限に有効活用され全体的な振興に貢献するには、地域外住民の意見も取り入れ産学官の連携を重視して進めるべきでは。

【答】 小規模校統合後の空き校舎の活用については、地域住民との意見交換を実施し検討を進めてきたことから、現段階において、利活用そのものに対する地域外からの意見を取り入れることは考えていないが、今後、検討を深めていく中で、必要に応じて、専門家等からアドバイスを頂くことや民間団体等との連携も視野に入れていきたい。

その他の質問事項

- 公共施設へのWiFi設置の拡充
- 新型コロナウイルスへの抵抗から共生へ

安岡 明雄

改革ネットワーク(青の会、市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党)

ICT活用で教育の可能性をどう広げるか

【問】 どういう授業をやっていくかを明確にするには、ICT活用の教育推進プランを策定し、先生、児童生徒、保護者が目的を共有して進めるのが重要だ。タブレット端末の活用で、どう進めていくか。

【答】 1人1台のタブレット配信により、今後はICT機器の活用主体が、教師から児童生徒へと移行し、より質の高い授業を目指すことができる。児童生徒が話し合いの中で、自分の考えを発信し、友達と共有し、自分の考えを再構築できるようなツールとして、児童生徒と教師、児童生徒同士といった双方向のやり取りが生まれるような使い方を考えている。

ICT活用を支えるサポート体制

【問】 先生が教える授業から、子供たちが主体的に学ぶ授業へ。これまでの授業を変えるのは大変なこと。そのために指導主事、ICT支援員がチームとなって研修をすることが必須となるが、どう進めるか。

【答】 機器操作のサポート、授業における有効な活用方法等についての助言、通信やシステム改善に係る各支援員の配置を考えている。また、全教員を対象とした研修会を、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、学校ごとに開催するなどしながら実施することを考えているほか、県教育委員会が主催するICT関連の講座への参加も呼びかけていく。

その他の質問事項

- 新型コロナウイルス時代にどう適応するか
- 大規模な豪雨災害時の避難所のコロナ対策は
- 浸水想定地域の避難体制は万全か

各委員会で の主な審査概要

決算特別委員会

令和元年度一般会計と特別会計の決算を認定

9月9日に決算特別委員会を開催し、総務企画分科会、文教民生分科会、産業建設分科会の3分科会を設置して、一般会計と10の特別会計の決算を審査することとしました。

一般会計の決算額は、歳入279億5765万2590円、歳出271億8488万2394円で、歳入歳出差引額は7億7277万196円。特別会計全体の決算額は、歳入148億280万5815円、歳出145億3742万3454円で、各特別会計とも黒字決算でした。審査の結果、決算を認定すべきものと決しました。

主な質疑に対する答弁概要は次のとおりです。

【自主財源の確保】

令和元年度の実質単年度収支は約6億円の赤字となっている。平成28年度あたりから赤字傾向にあり、30年度は道の駅ふたついの土地売却収入により黒字に転じたものの、一般財源については、不足する傾向にあったと分析している。その要因として、国勢調査の人口の減少、合併算定替えの段階的縮減などによる交付税の減少がある。今後、合併算定替えの終了等が、本市の財政に大きく影響するものと考えて

おり、能代火力発電所3号機による税収増等が見込まれるものの、厳しい状況が続いていくものと考えている。自主財源確保の取組については、税収の増につながる取組を重点的施策として、能代市総合計画等に盛り込んでおり、今後とも保有する基金等を活用しながら、有効な施策を展開し、将来の自主財源確保につなげたい。

【財政調整基金】

新型コロナウイルスの影響により大きな減少となっており、今後の国による財源措置にもよるが、現状のままでは5年程度で底をつくのではと推測している。状況によっては早まる可能性もあるため、さらに先を見据えながら収支の均衡を図る必要があると考えている。

【市職員の時間外勤務】

命令時間数について、令和元年度から上限を設けており、原則として月45時間、年間360時間以内としている。また、月30時間以上を命ずる場合、人事担当課と協議することとしており、このほか時間数の多い職員及び所属長に対し聞き取り調査を実施している。上限超過の場合、各所属長が対象職員と面談を実施し、勤務状況や健康状態の把握、時間数増加の原因整理等の検証を行った上で、業務内容を見直す取組を行った。選挙や新型コロナウイルスにより、一部増加した業務があるもの

の、全体的にはこれらの取組により前年度比で減少したものと捉えている。

【移住定住環境整備】

広域連携を図るため、令和元年から今年にかけて、近隣3町の移住定住担当者との意見交換の機会を設けており、その中で、情報の収集及び共有をしている。同じ生活圏内での連携体制強化の必要性については、4市町共通認識のもとと捉えており、今後更に力を入れていきたいと考えている。

【消防団員定数の充足率と傾向】

条例定数850人に対し、平成31年4月1日現在で、団員数692名、充足率81.4%となっている。様々な施策に取り組んでいるものの、依然減少傾向にある。今年2月に消防団の再編計画を策定し、準備期間を令和4年度末までと設定していることから、今後様々な案を出し合い、適正な定数及び団員確保のため、施策等のさらなる充実強化に努めたいと考えている。

【がん検診無料クーポン券の利用率】

無料クーポン券は、40歳から60歳までの5歳刻みの年齢の方及び罹患率が上昇する年齢層の方へ配付しているが、その中でもがんに対する関心の薄い、若い年齢層の方の利用率が上がっていない状況にある。クーポン券の配付は、がん検診受診のきっかけとして効果のある施策と考えており、若い年齢層の

方への働きかけについて検討していきたい。

【国保税の引下げ】

最近では平成28年度、30年度に引下げしており、税率は県内他市町村と比較しても低いところに位置しており、低所得の方に対しては、軽減措置制度により軽減を実施しているほか、減免制度も設けている。国保会計は加入者からの保険税で保険給付費等を賄っているため、応分の負担をしていただかないと制度が成り立たないと考えるが、制度設計をしている国に対しては、全国市長会等を通じ、財政支援措置の要望を続けていきたい。

【農業技術センターの整備方針】

昨年度、整備方針検討委員会から整備に係る提言をいただき、現在、整備位置の検討をしているところである。

【デマンド型乗合タクシーの利用率】

昨年度の利用者は、1便につき1人から1.4人、運行率も10数%と利用率の低さは課題と考えている。昨年度は、空白地域解消のため、東雲地区で豊栄、国見まで、檜山西部地区でアーク口入能代まで運行区間を延伸した。今年度実施予定の南部地区での実証運行の結果も踏まえ、利用率の向上に努めていきたい。

総務企画委員会

質 地域自治区の設置期間終了後も二ツ井町の名称を使用するため、字の名称の変更によって、住民生活に何か影響はあるか。

答 現在、地域自治区名としてついている二ツ井町を字の名称に加える変更であり、表記は変わらないので、特に影響はない。

質 新型コロナウイルス感染拡大に伴い設置する仮設診療所の使用料等に関し、予算積算以上の利用件数への対応が必要となった場合の予算措置の考え方は。

答 今後の新型コロナウイルス感染症の拡大の状況等により臨機応変に対応していく。仮設診療所の開所が週2回、週3回と増えても対応できる件数で積算しているが、それ以上となった場合には、その都度対応したいと考えている。

質 個人市民税及び法人市民税の補正の内容は。

答 個人市民税については、追加の主な要因として、給与所得及び農業所得の伸びが考えられ、賦課実績から新型コロナウイルス感染症の影響による徴収猶予分を差し引いた上で5300万円を追加している。法人市民税については、4月から6月末まで確定申告をした法人の伸び率がマイナス12・6%

となっており、これに昨年の申告実績に基づく増減のほか、徴収猶予分を含め積算し7200万円減額した。

質 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について、国が期待しているICTの活用等が非常に手薄になっていることについての考えは。

答 本市として、今優先的に取り組まなければならないのは、市民の負担を少なくするための感染症対策や事業継続等の経済対策である。今後の新しい生活様式への対応については、引き続き検討していきたいと考えている。

質 令和2年4月28日以降に誕生した新生児の保護者へ給付する、特別定額給付金事業費（単独分）の申請手続方法は。

答 基本的には対象者が申請の手続をすることになり、申請用紙は、出生届等に基づき市から送付する。対象新生児の氏名、生年月日等、市で把握している事項を印字した用紙を送ることとし、申請者においては、振込先に関する情報等についてのみ記入し、振込先の通帳の写しを添付し、提出する流れとなる。



総務企画委員会の様子

(渡邊正人)

文教民生委員会

質 新型コロナウイルス感染症の地域における感染拡大の防止を図るとともに、地域医療体制を確保するため設置する能代市仮設診療所の職員には、どのような職員が配置されるのか。

答 医師会から医師が派遣されるほか、会計年度任用職員として臨床検査技師、看護士及び事務員を採用している。

質 それらの職員に対しPCR検査は行うのか。

答 当面検体採取は、受診者自ら唾液を採取する方法で行うこととしており、医療従事者はマスクと手袋の着用のみで作業が可能であるとされていることから、PCR検査は予定していない。

質 運営予定期間は。

答 県の補助金交付期間がらか月間であることから、12月28日までを予定しているが、今後の県の動向を踏まえ、対応を検討していきたい。

質 小・中学校の学校保健特別対策事業費のうち、感染症対策用消耗品及び備品の内容は。

答 消耗品は除菌液や除菌スプレー等で、備品はサーモグラフィーカメラ等を購入する予定である。サーモグラフィーカメラの設置により、児童生徒の登校時のほか、保護者等が来校する様々な学校行事において、全員の検温が少数で対応可能となり、教師の負担

軽減につながるものである。

質 全国的に必要とされている検査機器だが、納入は確実にできるのか。

答 見積業者からは、納入時期について未確定であるという話はない。

質 小・中学校の冷暖房整備事業のうち空調整備工事について、年度内に完成できない理由及び今後の行程計画は。

答 空調設備は天井に埋め込む大がかりな工事のため、繰越明許費を設定し来年8月の完成を目指している。授業中は工事ができなく、週休日のほか冬休みや春休みなどの長期休業中に工事を進めることになる。できるだけ早く取りかかり、来年の夏の暑さに備えたい。

質 子ども館の活動事業費の概要は。

答 新型コロナウイルス感染症対策により、現在設置している大きな風船型ドームのムーンプークの使用を控えており、室内遊具が少なくなっていることから、知育玩具を購入しようとするものである。



能代市子ども館

(安井利則)

産業建設委員会

質 長期影響継続事業者支援金支給費は、連続した6か月間の平均事業収入が前年より3割減少している事業者が対象だが、支援金受給後に収入が増えた場合はどうなるのか。

答 受給後に収入が増えた場合でも支援金の返還を求めることはない。

質 コンベンション施設の対象が会場面積100平方メートル以上としているが、小規模の施設はどうか。

答 小規模の施設については長期影響継続事業者支援金の対象となる。

質 水道事業に係る管洗浄のための水は有収率に係るのか。

答 有収率の積算に係る有効水量には、事業を行うために管洗浄した数量も含まれているため、洗浄作業や水の入替えを大規模に行うと有収率が低下することになる。

質 下水道事業会計の企業債の残高が130億円近くあるが、将来経営についての考え方は。

答 未整備箇所もあるため、今後とも総務省で示されている繰入金等を活用し下水道整備を進めていきたいと考えている。平成29年度から令和8年度までの経営戦略の期間内は、厳しいながらも現状の料金体系で経営できるものと見込んでいる。



能代終末処理場

質 住宅リフォーム支援事業費の追加理由は。

答 今年度の制度改正で、これまでの実績に関わらず再申請できるようにするため、交付件数が当初の想定より多かったことによるものである。

質 まちづくり計画の策定までの進め方は。

答 計画の策定は令和3年度末となっており、進捗状況については、随時、産業建設委員会等に報告していく。今後、学識経験者、関係団体、市民代表等により構成される策定委員会を設置するほか、市民参加によるワークショップの開催などを行って、幅広い意見を伺っていききたい。庁内においても検討委員会を設置し協議していく。

(伊藤洋文)

議会基本条例策定 特別委員会

9月15日に開催された委員会では、各条文について11回目の検討を行った。

「会派」について

意見 会派希望案の第3項に「協議」の文言を入れ条項を再度協議したい。

協議結果 引き続き検討を要することとした。

「報酬」について

改革ネットワーク案と平政・公明党案をそれぞれ主張するに至った。

協議結果 引き続き検討を要することとした。

「前文」について

会派希望から提示された文案を基に、前回の委員会での意見を受け、修正した案について全会一致で決定した。



議会基本条例策定特別委員会の様子

引き続き検討を要することとした2条項について

10回以上協議を重ねてきたが、なかなか合意に至らず、このままでは条例の制定は困難であり、当初のスケジュールから大幅に遅れていることも踏まえ、これまでは意見調整しながら、全会一致により決定してきたが、次回委員会において採決により決定することを提案した。

意見 全会一致で決めたほうが強い条例になると思っているため、これまでの意見を踏まえて調整する努力を続けてほしい。

協議結果 正副委員長において、今後の進め方について再度検討することとした。

(落合範良)

意見書の提出

今定例会では、3件の意見書を可決し、関係行政庁へ提出しました。

◆ 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求めるとの意見書

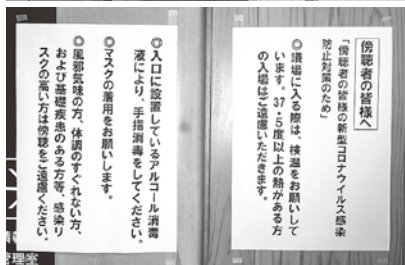
◆ 加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求めるとの意見書

◆ 秋田県主要農作物種子条例の制定を求める意見書

議会における新型コロナウイルス感染症対策について

能代市議会では、3月定例会より新型コロナウイルス感染症対策について議会運営委員会で協議し、感染状況等に応じて対策を講じてきておりますが、9月定例会においては、次の予防対策を実施しました。

- 議場上部の排煙窓及び傍聴者出入口扉の開放。
- 一般質問の持ち時間を60分から50分に変更、50分審議、10分休憩とし、休憩中は議場全ての扉を開放し換気。
- 一般質問、議案審議の際、支障のない範囲で議員または説明員の出席人数を調整。
- 議場出入口にアルコール消毒液を配置し、手指消毒を実施。



上：議場出入口のアルコール消毒液
下：議場出入口の傍聴者への協力依頼の貼り紙

- 入場者（傍聴者含む）は全てマスク着用とし、発言する際場所を指定。
- 傍聴者に、体調不良時の傍聴自粛を依頼。
- 議員は会議当日に検温を行い、37.5度以上の場合には登庁しない。

○傍聴者が議場に入場する際、非接触型の体温計による検温を行い、37.5度以上の場合には傍聴自粛を依頼。

○本会議はインターネット及び庁舎内のテレビモニターでも視聴可能なことをホームページに掲載。

○議場等使用前と使用後にドアノブ等を消毒、清掃。

○演台及び質問席の前に透明なパーティションを設置。

議会報告会については、現在開催を延期しているところですが、新型コロナウイルス感染症が一日も早く収束するよう祈念するとともに、今後も議会が行う感染拡大防止対策への御理解、御協力をお願いいたします。



演台及び質問席のパーティション

市民意識調査結果

毎年実施している市民意識調査において、市議会に関する質問項目を設けています。今年の調査結果をお知らせします。

問 能代市議会では、議会だよりやホームページを通じて活動状況をお知らせしているほか、本会議のライブ・録画中継を行うなどの取組をしていますが、市議会に対してどのようなことを期待しますか。（選択は2つまで、構成比は回答者928人に対する割合のため、合計値は100%になりません。）

- 1位 市民の意見を広く聴く取り組みを充実する (52.5%) (53.7%)
- 2位 市勢の発展に資する政策を提案する (35.1%) (37.5%)
- 3位 条例や予算等の内容が適正か審議する (20.8%) (19.3%)
- 4位 行政の事務が公正に行われているかチェックする (19.9%) (17.3%)
- 5位 特にない (18.0%) (20.2%)
- 6位 議会活動に関する情報提供を充実する (10.1%) (10.0%)
- 7位 その他 (2.6%) (2.6%)

議会の主な動き 7月～9月

- 8月25日 会派代表者会議
議会運営委員会
- 9月1日 9月定例会開会
会派代表者会議
議会運営委員会
- 9日 決算特別委員会（主体会）
各常任委員会
- 10日 決算特別委員会（分科会）
総務企画常任委員会
- 11日 決算特別委員会（総務企画分科会）
議会基本条例策定特別委員会
- 15日 会派代表者会議
- 18日 決算特別委員会（主体会）
議会運営委員会
- 25日 9月定例会閉会

議長の主な動き 7月～9月

- 秋田県市議会議長会定例会
- 能代山本広域市町村圏組合議会臨時会
- 日吉神社例大祭 御神幸祭
- 銀河連邦ノシロ共和国閣僚会議
- 秋田県北部市議会連絡協議会
- 秋田県後期高齢者医療広域連合議会臨時会
- 秋田県市議会議長会職員研修会
- 能代港大森地区岸壁着工式
- 能代地域活性化協議会臨時総会

◎7月～9月は、議長交際費の支出はありません。

請願・陳情の提出期限

12月定例会の請願・陳情の提出期限は、開会日（12月1日）の午前10時までとなります。

【議会を傍聴しませんか】

本会議はごなたでも傍聴できますのでお気軽においでください。備付けの「傍聴者名簿」に住所・氏名を記入し、傍聴席へお入りください。耳の聞こえにくい方が音声を取りやすくする、磁気ルーブシステムを用意しておりますので、希望される方は、傍聴希望日の前日までに議会事務局にお申し出ください。

なお、本会議当日は、本庁舎1階市民交流スペースと二ツ井町庁舎1階市民フロアに設置してあるモニターでも中継を見ることがあります。

また、市ホームページ等から本会議のライブ中継・録画中継や、市議会会議録を見ることが出来ます。

◎9月定例会の傍聴においては、新型コロナウイルス感染症防止対策に御協力いただき、誠にありがとうございました。

12月定例会の予定

（招集場所：能代市本庁舎議場）

- 12月1日（火）…開会・提案説明
- 7日（月）～9日（水）
……………一般質問・議案の質疑
- 10日（木）、11日（金）
……………常任委員会
- 14日（月）
…議会基本条例策定特別委員会
- 16日（水）……………議決・閉会

会議の日程及び開議時刻（午前10時）は変更する場合がありますので、議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

年初めから新型コロナウイルス感染症は世界各国に広がり、日本でも感染者が多く報告され、今に至っています。

幸い、秋田県では何とか抑えられているとはいえ、まだまだ油断はできません。

能代市としても様々な支援策を打ち立て対応してきましたし、議会としても遅滞なく支援するよう要望してきたところです。しかしながら依然としてコロナの影響は否定できません。9月議会では追加の支援策を決定しております。さらに、今後コロナの影響が長引いた場合は再々の支援策を考えていくことも市長は明言しています。

11月に入り寒い日が続いています。どうか市民の皆様が健康に、楽しく暮らせるよう祈念して、編集の後記とします。

（伊藤洋文）

【御意見・御感想をお寄せください】

のしろ市議会だより「わたしのまち」を御覧になった皆様の御意見・御感想をお待ちしております。

〒016-8501

能代市上町1番3号 能代市議会事務局宛

能代市議会 広報委員会

- | | |
|-------|-------|
| 委員 長 | 渡邊 正人 |
| 副委員 長 | 伊藤 洋彦 |
| 委員 | 小藤 秀彦 |
| 委員 | 大高 林秀 |
| 委員 | 落合 康友 |
| 委員 | 安井 和良 |
| 委員 | 落合 良 |